

# 保健体育の授業を通して、潤いのある人生を送ってほしい！ by 久徳

12月9日(金)、保健体育科の金城久徳先生が授業を公開しました(1年7組)。本時の授業は、**運動やスポーツの「多様な関わり方」について考える**ことが目的です。

まず、3年ぶりに開催されたNAHAマラソンの写真を紹介し、「**ランナー以外にどんな人がいるかな?**」と問いかけることで、応援する人や運営する人など、スポーツには多様な関わり方があることを確認し、本時の問い(ねらい)につなげていました(図1の赤丸〇)。

また、生徒一人ひとりにタブレットが手渡され、ロイロノートを使って、自身に合ったスポーツライフプランを作成していたのもナイスです(生徒全員が **Output する場面設定・一人1台端末の効果的な活用**)。

教頭先生(保健体育科)からは、教師が「**する・みる・支える・知る**」と整理整頓してルールに乗せるのではなく、**生徒が運動やスポーツにどのように関わっていくか自由に Output** させ、その多様な発想やアイデアから、「**する・みる・支える・知る**」を生み出してカテゴリー化していく授業をデザインすると、生徒が本時のねらいをより深く理解する姿が期待できるかもしれないと、アドバイスをいただきました。



図1 那覇マラソンの映像から「**する・みる・支える・知る**」を確認



図2 Sさんのスポーツライフプランの良いところを評価する姿

表1 スポーツライフプランシートをロイロノートで作成し提出する(Sさん)

	今	20	30	40	50	60	70
イベント		中学	高校	大学	就職	結婚	退職
家族			一子 二子			一孫 二孫 三孫	
スポーツとの関わり	ダンス	ヨガ&マラソン	ウォーキング	サッカー、バスケ、オリンピック 観戦			
		子供部活送迎					
	学校	テレビ、SNS					
スポーツを	する	見る	知る				

Sさんにインタビュー

1. 今日の授業を振り返ると?  
自分の年齢に合わせて、運動とスポーツとの関わり方についてライフプランを作ることができた。

2. ライフプランで工夫した点は?  
スポーツは苦手だけど、好きな方なので、ヨガとマラソンを続けて、いつまでも健康で美しくありたい。

## 「運動部活動と体育の授業の違いとは？」 中学校学習指導要領解説(保健体育)を参考に考えました④

**体育や保健の見方・考え方を働かせ**とは、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する観点を踏まえ、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、**自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付ける**こと」とあります。

運動部活動は**“する”**が主眼に展開されがちかもしれませんが、**スポーツが人生に潤いを与えることは周知の事実**です。運動の好きな生徒は、自然とそのようなアプローチができますが、運道が苦手な生徒でも**“みる”**  
**“支える”****“知る”**という視点から生涯スポーツにアプローチすることもできると思います。

もしかしたら**保健体育と運動部活動との違いは、その点にあるのかな?**とドゥーチームニー(自問自答)するほど、とても参考になる保健の授業でした。